

ILクラウド演習環境接続ガイド (リモートデスクトップ接続編)

Ver. 1.4 (2021年12月20日更新)

i-Learning®

株式会社 アイ・ラーニング




目次

1. ILクラウドについて	… 3
2. 接続テスト - Windows PowerShell(コマンド)編	… 4
3. 接続テスト - macOSターミナル(コマンド)編	… 5
4. 接続テスト - リモートデスクトップ接続(アプリ)編	… 6
5. RDP接続ガイド - Windowsアクセサリ編	… 8
6. RDP接続ガイド - Microsoft Storeアプリ編	… 10
7. RDP接続ガイド - RDPファイル編(配布時)	… 14
8. RDP接続ガイド - macOS編	… 16
9. パソコン以外の使用について	… 20
10. 接続できなかった場合に行う対策例	… 21

※事前に接続テストを実施し、当日は受講案内(接続先、ユーザー名、パスワード等)に従ってRDP接続します。

1. ILクラウドについて

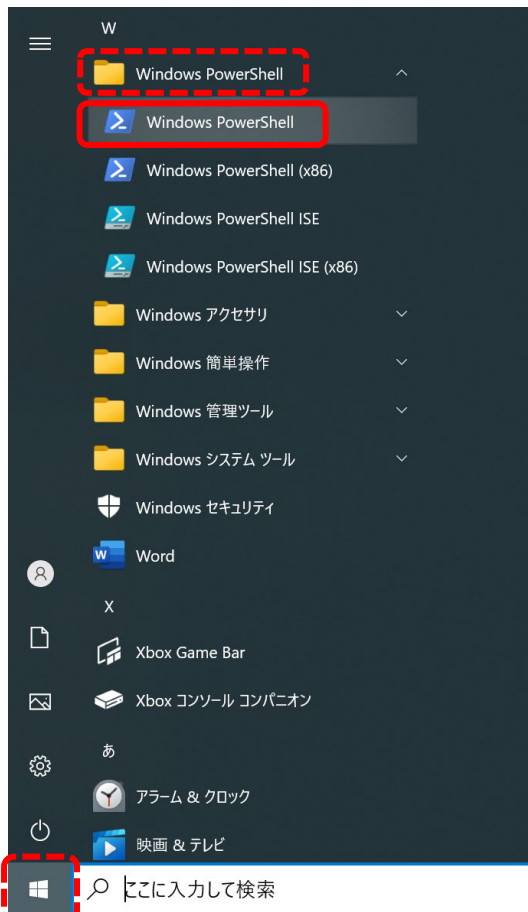
株式会社アイ・ラーニングではオンラインクラス等の演習環境に、ILクラウド(i-Learning Cloud)として主にWindows仮想マシン、AWS、Microsoft Azureを使用しています。

プラットフォーム		アクセス方法	用途
	Windows仮想マシン	RDP(TCP 3389)	機械実習用のパソコンの代わりに仮想マシンを使用します。
	AWS	マネジメントコンソール (AWSアカウント使用)	AWSの使い方を学ぶクラウド研修、またはAWS提供の特定機能を使った研修で使します。
	Microsoft Azure	Azure Portal (Azureアカウント使用)	Microsoft Azureの使い方を学ぶクラウド研修、またはAzure提供の特定機能を使った研修で使します。

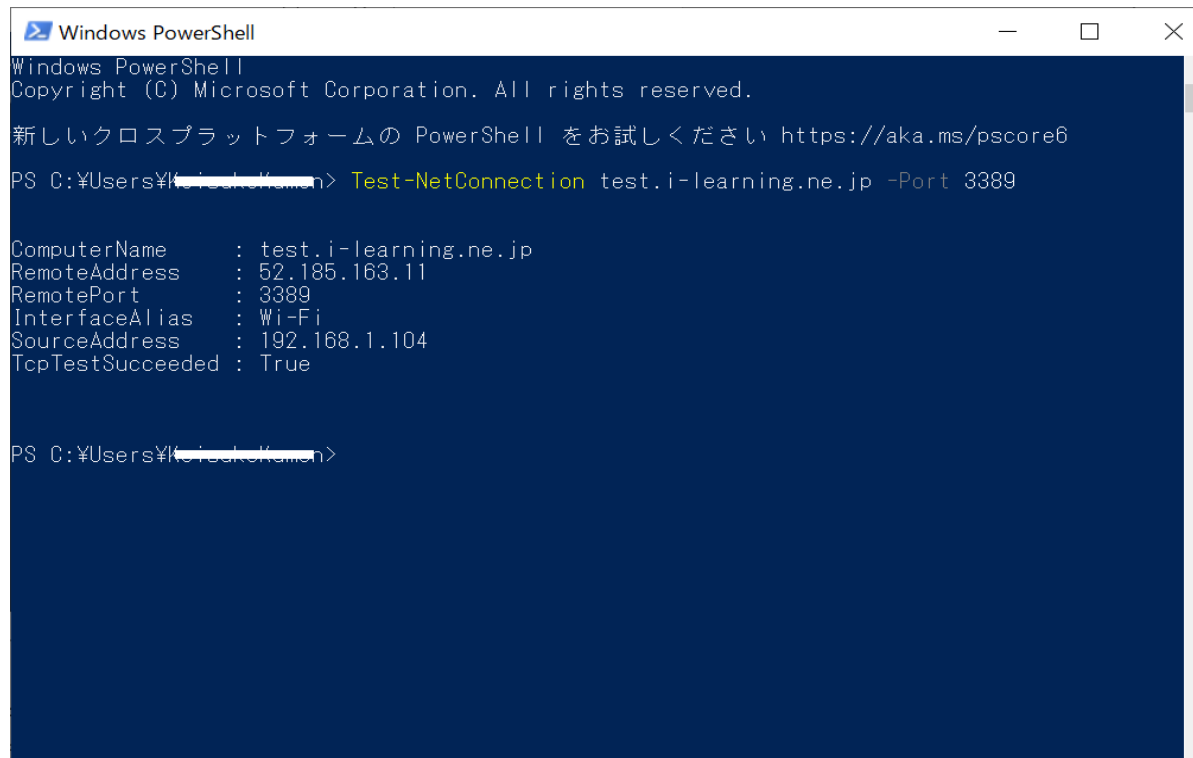
仮想マシンにリモートアクセスすることで、お客様は自らのパソコンに研修用アプリケーション等をインストールすることなくご受講いただけます。また、クラウド研修では本物のパブリッククラウド環境を使ったトレーニングを実施しています。

本ガイドでは、仮想マシンへリモートデスクトッププロトコルで接続(以下「RDP接続」という)する手順をご案内いたします。
実際に当日ご受講されるパソコンとネットワーク環境で、RDP接続できるか必ず事前に接続テストをしてください。
ご受講には別途指定された、コンピューター(接続先)名、ユーザー名、パスワードが必要です。

2. 接続テスト - Windows PowerShell(コマンド)編



①[スタート]メニューから[Windows PowerShell]の[Windows PowerShell]を選びます(検索ボックスに[power]と入力しても見つかります)。



②[Test-NetConnection test.i-learning.ne.jp -Port 3389]とコマンドを打つことで確認できます。

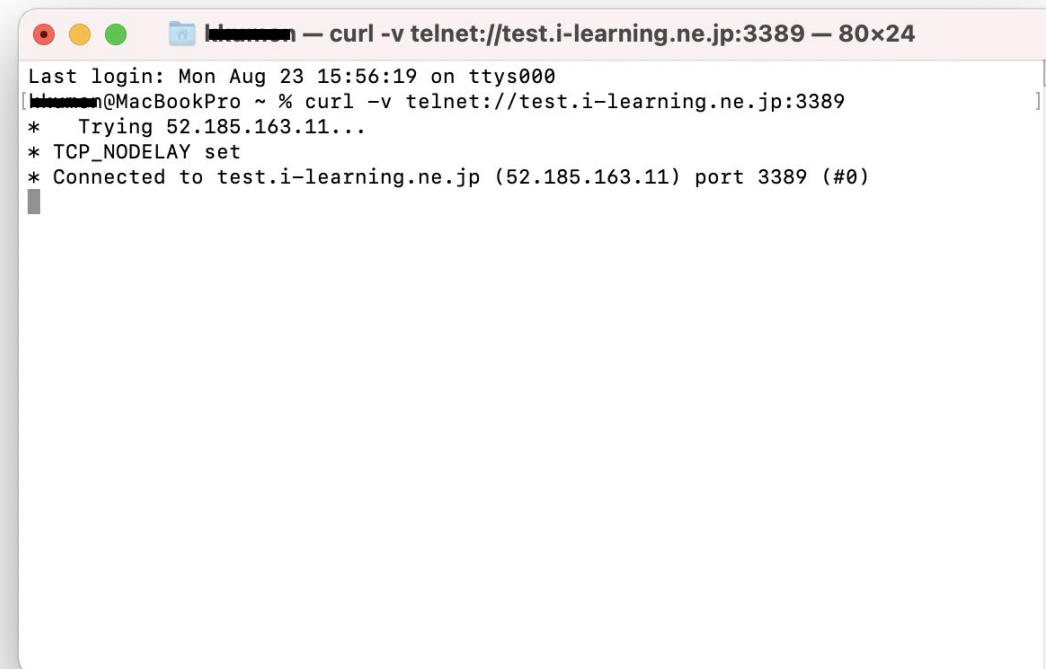
③一番下のTcpTestSucceededが[True]と表示された場合、現在の環境からRDP接続できます。もし、[False]と表示された場合、10の接続できなかったときの対応例を参考に、パソコン設定やネットワーク環境等接続を阻害する原因となっている環境を見直してください。

3. 接続テスト - macOSターミナル(コマンド)編



①[アプリケーション]フォルダの[ユーティリティ]フォルダから[ターミナル]をダブルクリックします(Spotlight検索に[ter]と入力しても見つかります)。

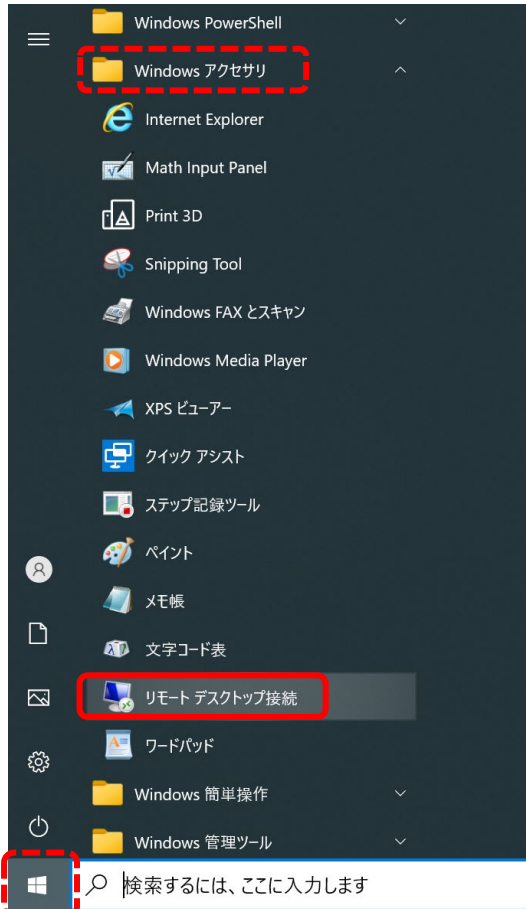
※本ガイドではmacOS Big Surを使用、curlコマンドはターミナルから使用できる標準コマンドで、telnetコマンドの代わりに使います。



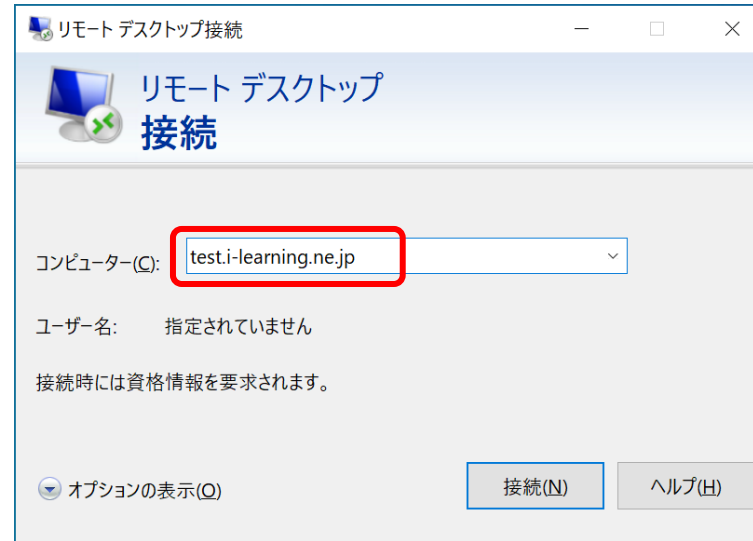
②[`curl -v telnet://test.i-learning.ne.jp:3389`]とコマンドを打つことで確認できます。

③[[Connected to test.i-learning.ne.jp ...](#)]と表示された場合、現在の環境からRDP接続できます。もし、**[Connection failed]**と表示された場合、10の接続できなかったときの対応例を参考に、パソコン設定やネットワーク環境等接続を阻害している環境を見直してください。

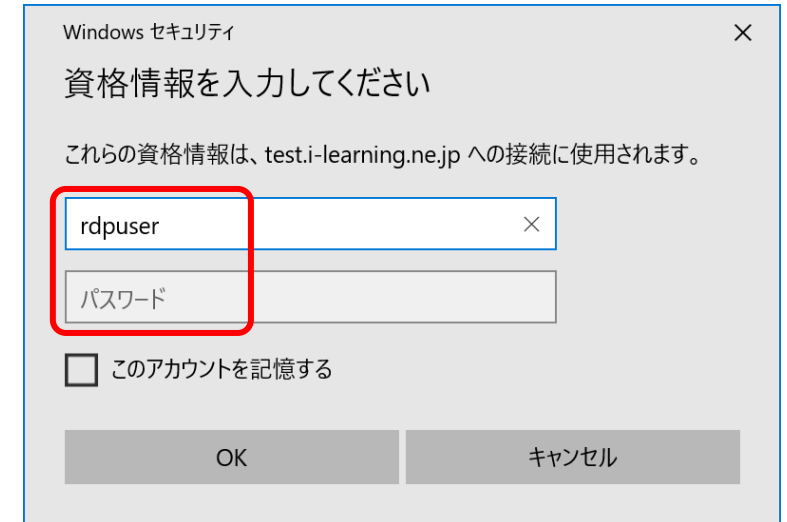
4-1. 接続テスト - リモートデスクトップ接続(アプリ)編



①[スタート]メニューから[Windows アクセサリ]の[リモート デスクトップ接続]を選びます(検索ボックスに[リモート]と入力しても見つかります)。



②コンピューターに[test.i-learning.ne.jp]と入力し、[接続]を押します。

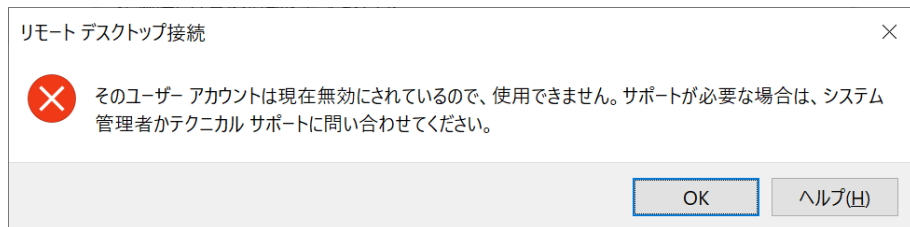


③資格情報のユーザー名に[rdpuser]、パスワードは[なし(ブランク)]でOKを押します。

※これとは異なる表示になった場合、コマンドを使った接続テストに変更するか、10の接続できなかったときの対応例を参考にします。

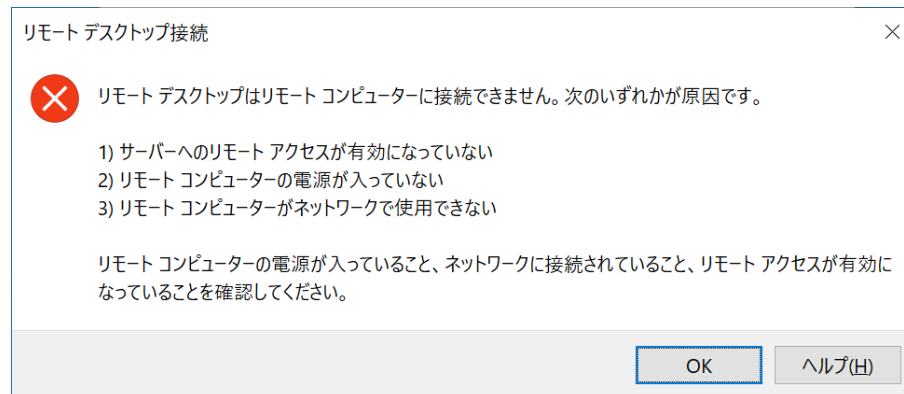
4-2. 接続テスト - リモートデスクトップ接続(アプリ)編

OK



④[そのユーザー アカウントが無効にされている...]と表示された場合、現在の環境からRDP接続できます。

NG



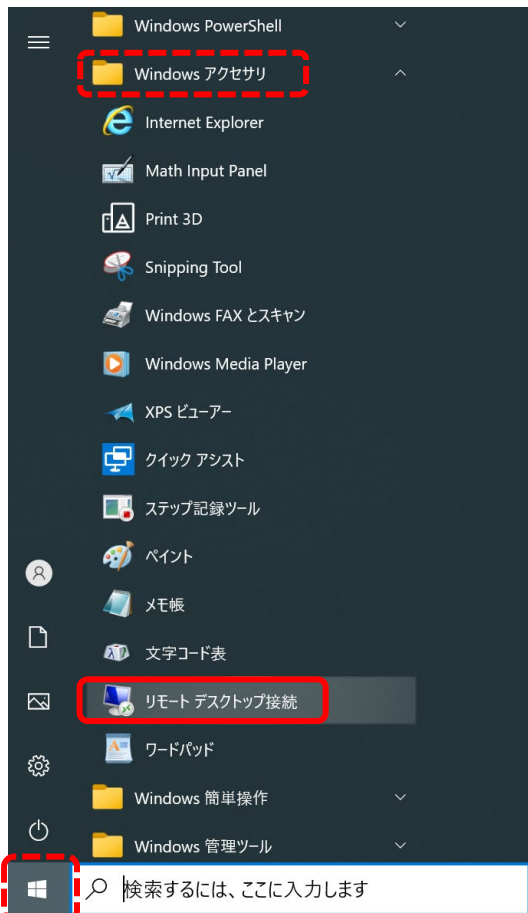
もし、[リモート デスクトップはリモート コンピューターに接続できません。...]と表示された場合、現在の環境からはRDP接続できません。

※接続できるようにするためには、10の接続できなかったときの対応例を参考に、パソコン設定やネットワーク環境等接続を阻害する原因となっている環境を見直してください。

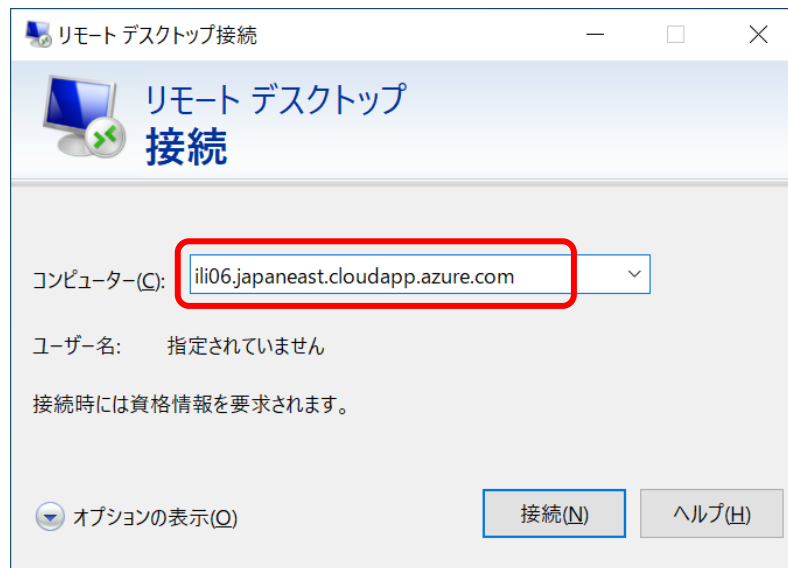
本ガイドではWindows 10 Pro付属の[リモート デスクトップ接続]アクセサリを使っていますが、Microsoft Store版アプリ(Windows 10 Home等)やMac App Store版アプリ(macOS)でも同様の接続テストができます。

※その場合には、RDP接続ガイド(6、8)の手順を参考に読み替えてください。

5-1. RDP接続ガイド - Windowsアクセサリ編

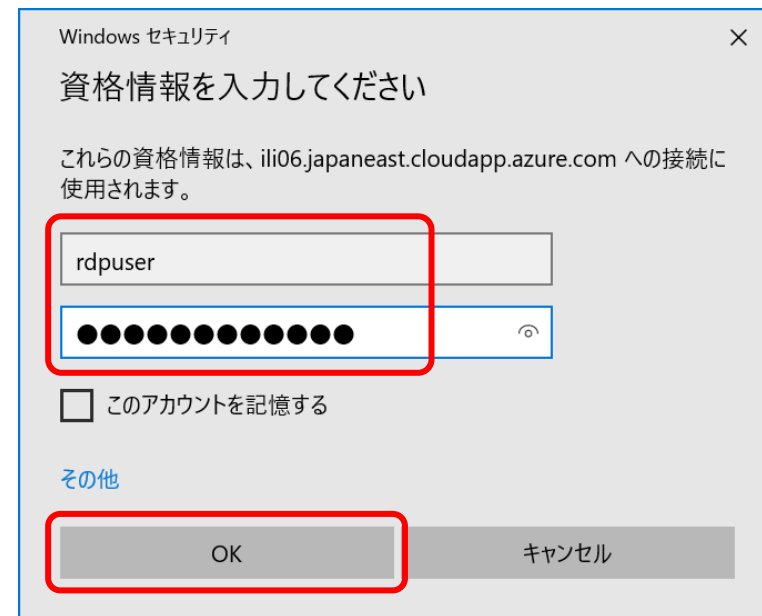


①[スタート]メニューから[Windows アクセサリ]の[リモート デスクトップ接続]を選びます(検索ボックスに[リモート]と入力しても見つかります)。



②[コンピューター]に指定されたコンピューター(接続先)名を入力し、[接続]を押します。

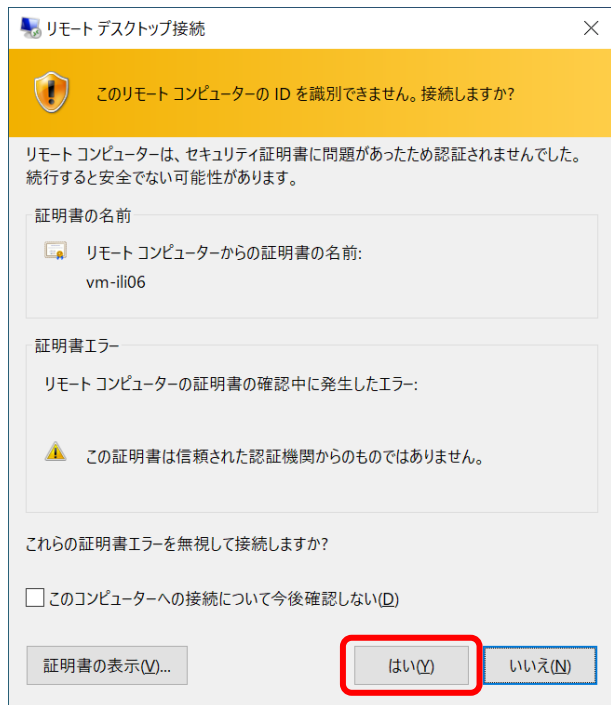
例: ili06.japaneast.cloudapp.azure.com



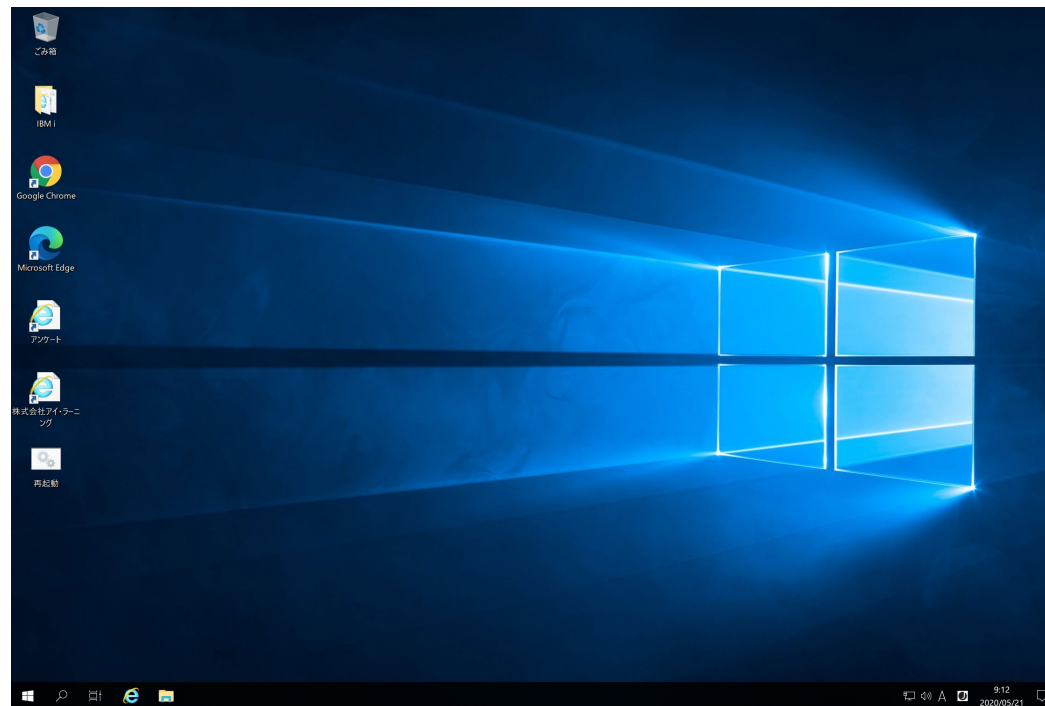
③指定された[ユーザー名]と[パスワード]を入力し、[OK]を押します。

例: rdpuser ***** (パスワード12桁以上)

5-2. RDP接続ガイド - Windowsアクセサリ編



④ 上記画面が表示されました、
[はい]を押します。

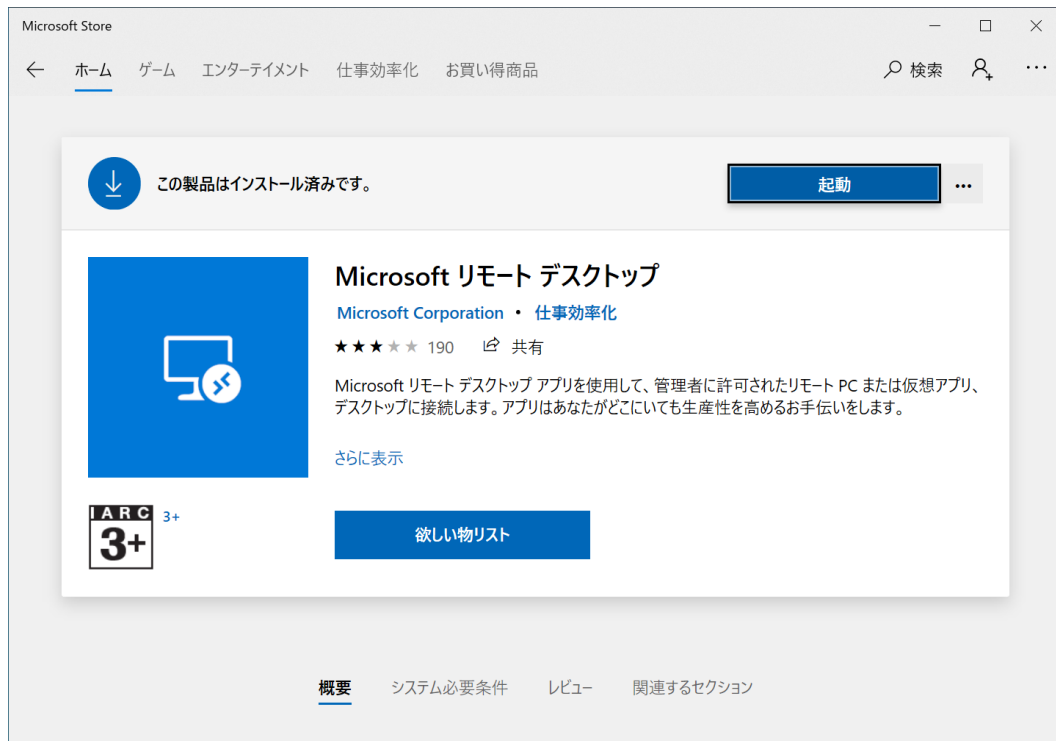


⑤ 仮想マシンのデスクトップ画面が表示されました完了です。
この後は、指示に従って操作します。

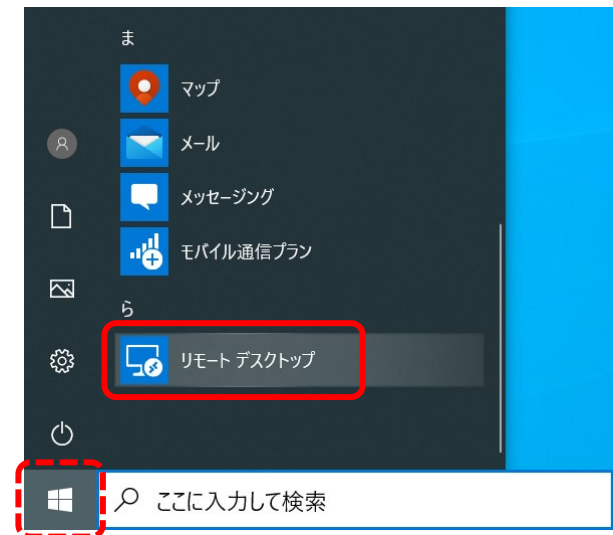
⑥ 接続を切るときは、画面上部の接続バーの[×(閉じる)]を押すか、[スタート]メニューから[電源]の[切断]を選びます。

※途中でリモートデスクトップ接続が切れた場合、①の手順より再接続してください。また、仮想マシンに問題が発生した場合、デスクトップの[再起動]をダブルクリックして再起動させ、手順①より再接続してください。

6-1. RDP接続ガイド - Microsoft Storeアプリ編

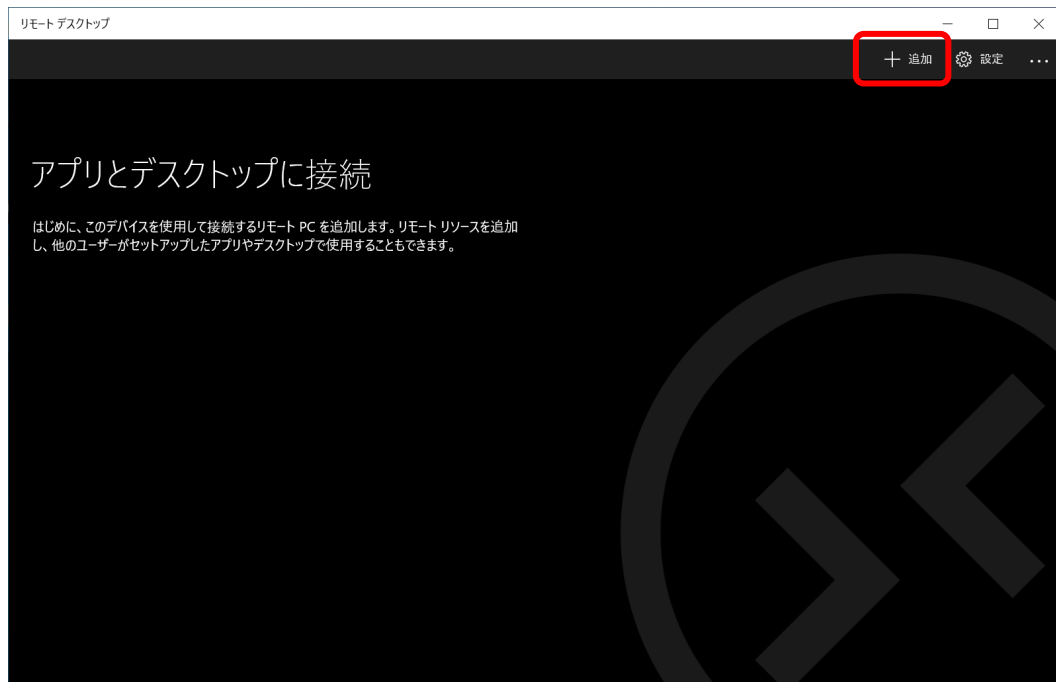


①[スタート]メニューから[Microsoft Store]にアクセスし、
[Microsoft リモート デスクトップ]を検索してインストールします
(インストール済みの場合は不要)。



②[スタート]メニューから[リモート デスクトップ]を選びます。

6-2. RDP接続ガイド - Microsoft Storeアプリ編



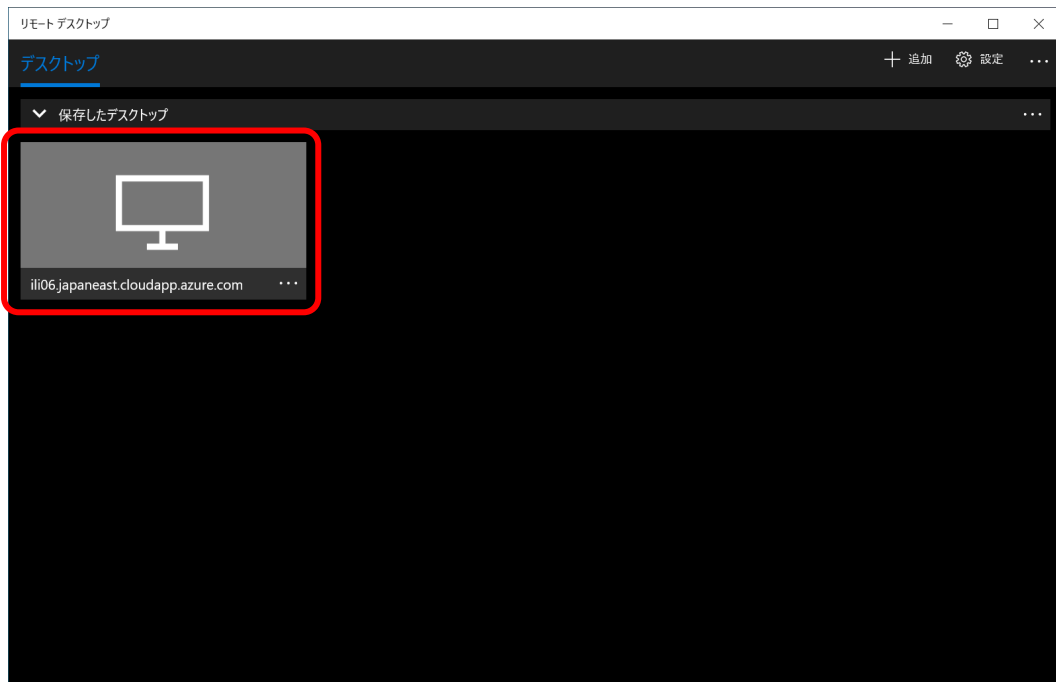
③[追加]を押します。



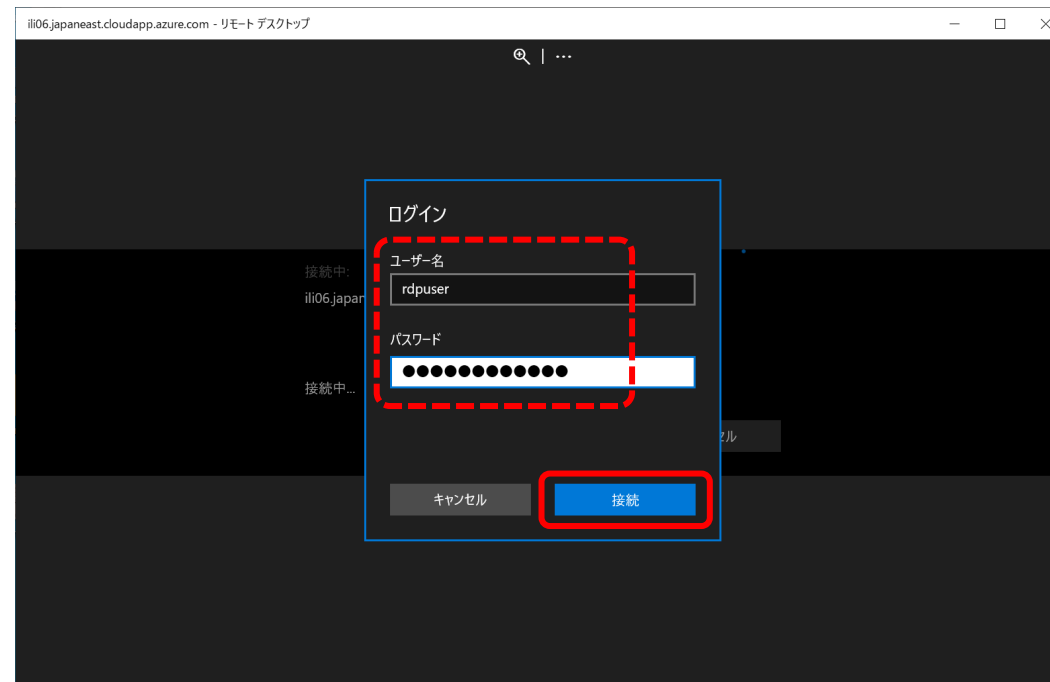
④[PC 名]に指定されたコンピューター(接続先)名を入力し、[保存]を押します。

例: ili06.japaneast.cloudapp.azure.com

6-3. RDP接続ガイド - Microsoft Storeアプリ編



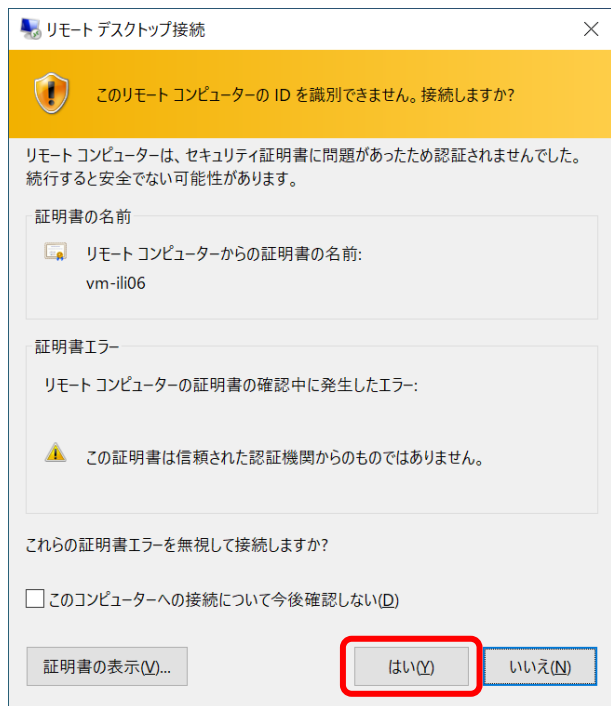
⑤接続情報が保存されますので、それを押します。



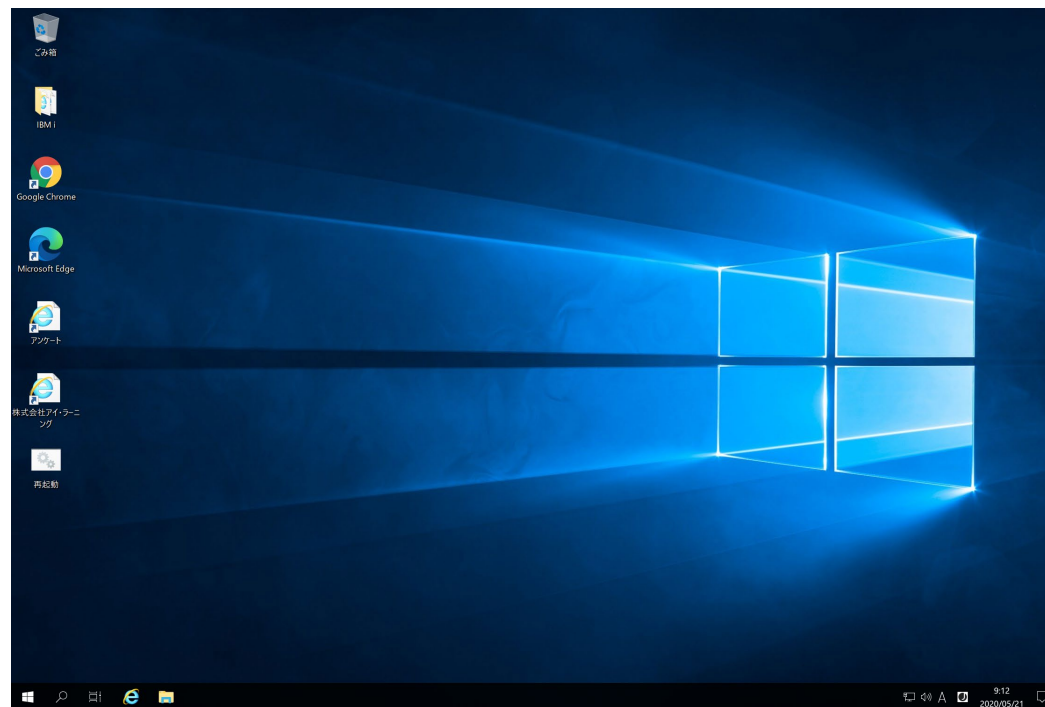
⑥指定された[ユーザー名]と[パスワード]とを入力し、[接続]を押します。

例: rdpuser ***** (パスワード12桁以上)

6-4. RDP接続ガイド - Microsoft Storeアプリ編



⑦ 上記画面が表示されました、
[はい]を押します。

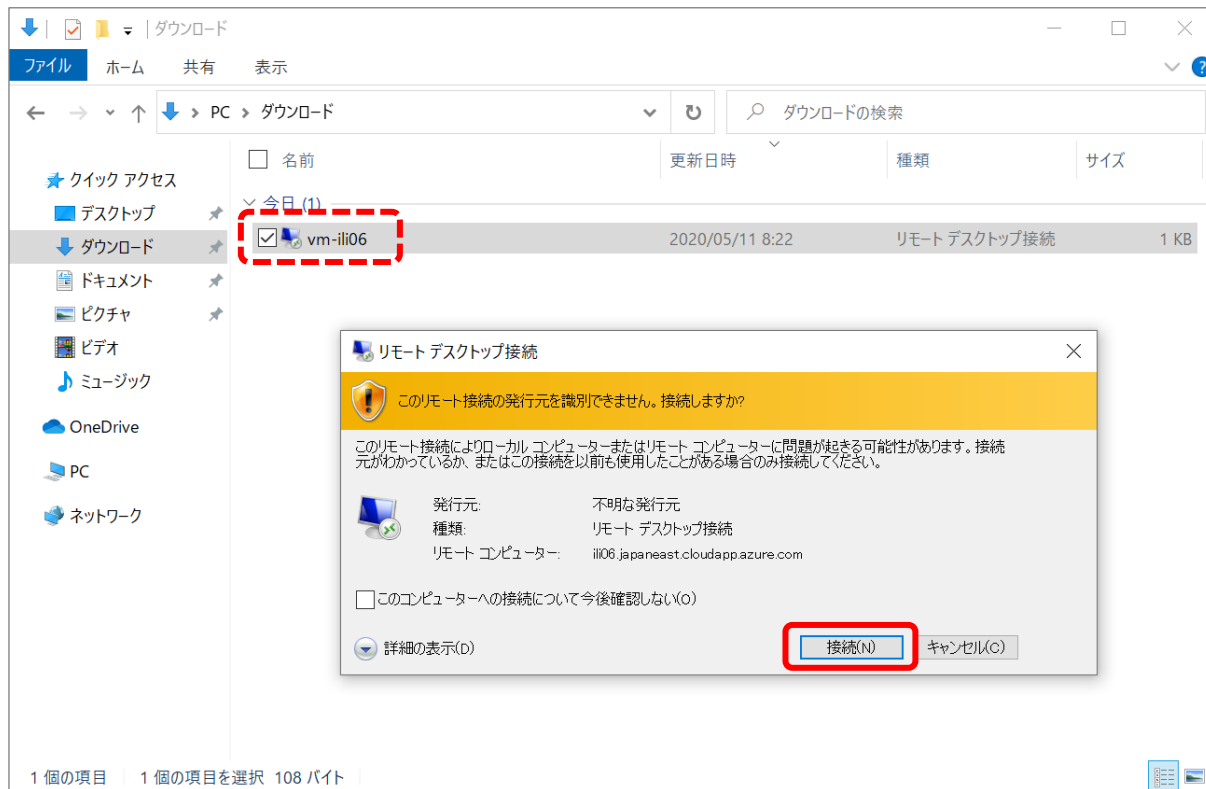


⑧ 仮想マシンのデスクトップ画面が表示されました完了です。
この後は、指示に従って操作します。

⑨ 接続を切るときは、画面上部の接続バーの[×(閉じる)]を押すか、[スタート]メニューから[電源]の[切断]を選びます。

※途中でリモートデスクトップ接続が切れた場合、⑤の手順より再接続してください。また、仮想マシンに問題が発生した場合、デスクトップの[再起動]をダブルクリックして再起動させ、手順⑤より再接続してください。

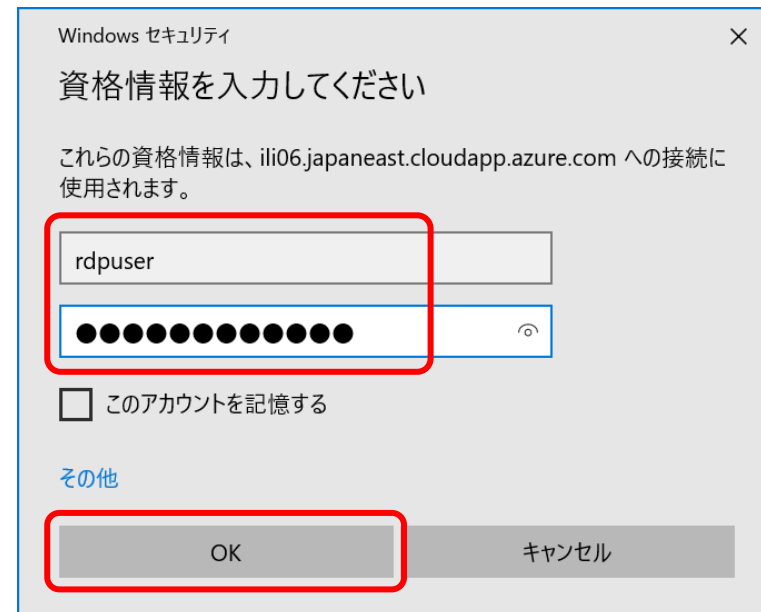
7-1. RDP接続ガイド - RDPファイル編(配布時)



①RDPファイルが配布された場合、受領したRDPファイルをダブルクリックし、[接続]を押します。



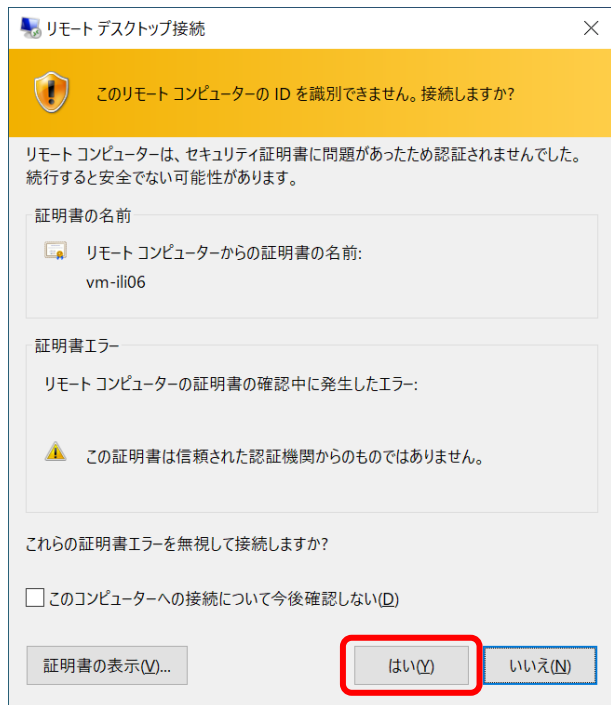
RDPファイル…簡単にリモートデスクトップ接続できる拡張子rdpのファイル



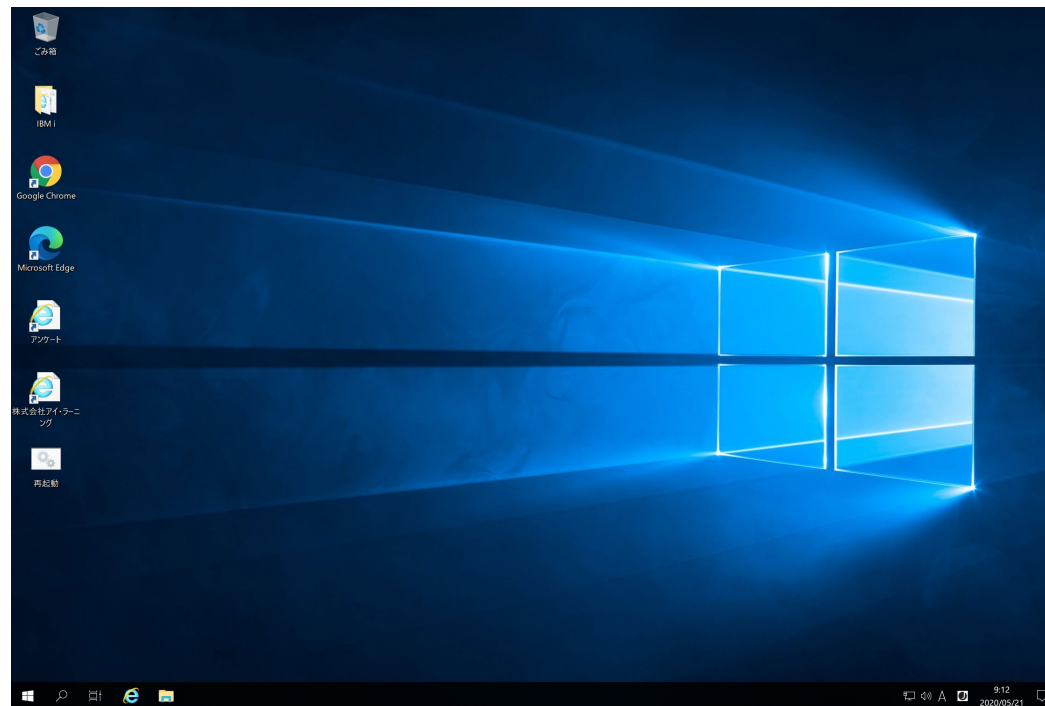
③指定された[ユーザー名]と[パスワード]を入力し、[OK]を押します。

例: rdpuser ***** (パスワード12桁以上)

7-2. RDP接続ガイド - RDPファイル編(配布時)



③ 上記画面が表示されました、
[はい]を押します。

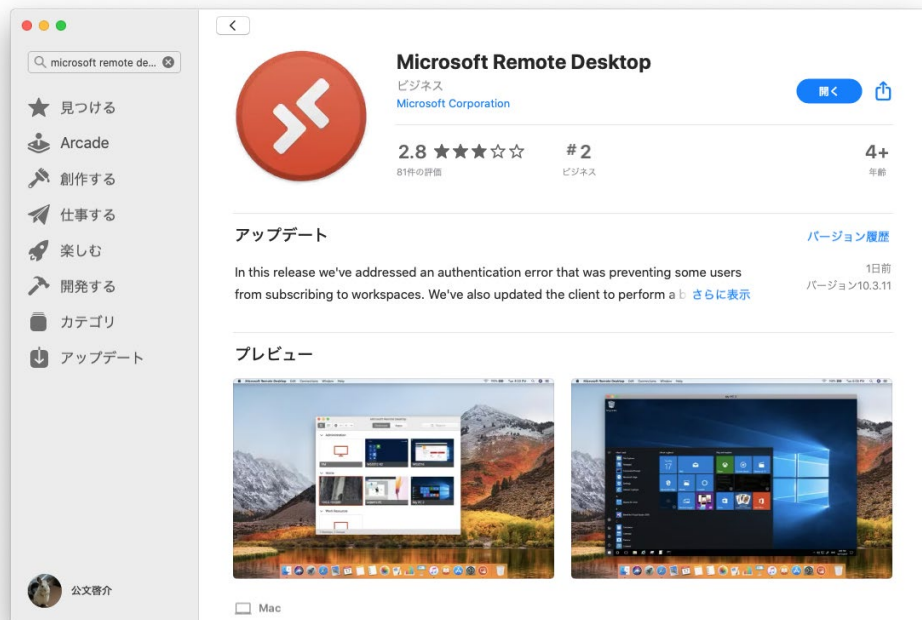


④ 仮想マシンのデスクトップ画面が表示されました完了です。
この後は、指示に従って操作します。

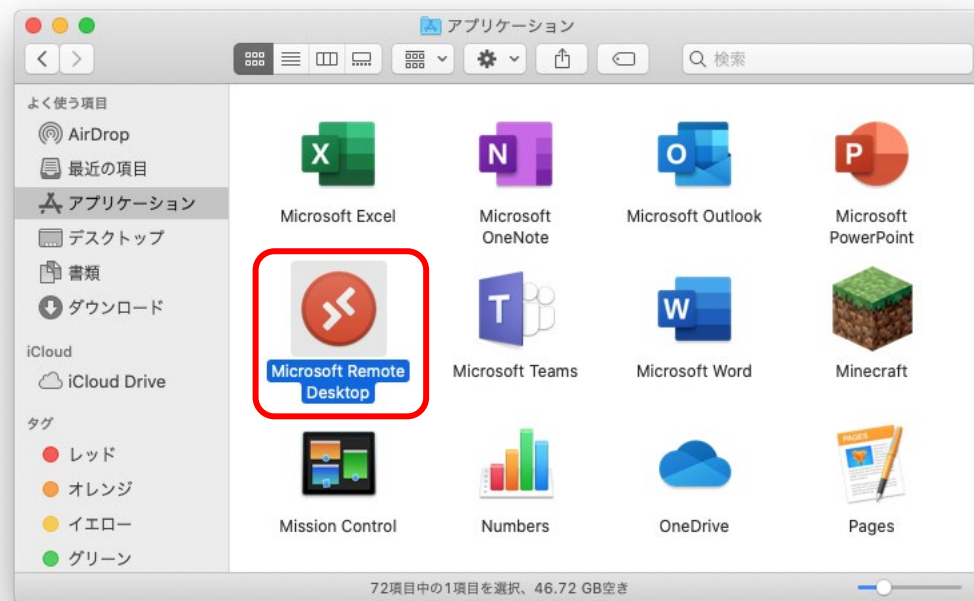
⑤ 接続を切るときは、画面上部の接続バーの[×(閉じる)]を押すか、[スタート]メニューから[電源]の[切断]を選びます。

※途中でリモートデスクトップ接続が切れた場合、①の手順より再接続してください。また、仮想マシンに問題が発生した場合、デスクトップの[再起動]をダブルクリックして再起動させ、手順①より再接続してください。

8-1. RDP接続ガイド - macOS編



①[アップルメニュー(リンゴマーク)]から[App Store]にアクセスし、[Microsoft Remote Desktop]を検索してインストールします(インストール済みの場合は不要)。



②[アプリケーション]の中にある[Microsoft Remote Desktop]をダブルクリックします。

※起動時にアクセス許可(マイク等)を求められた場合は承諾します。

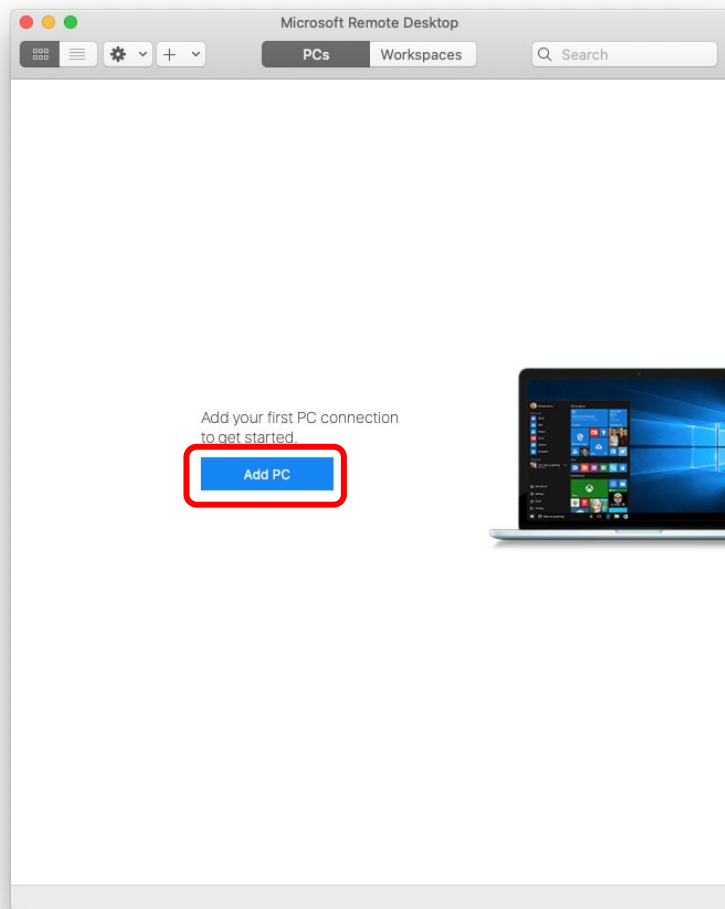


vm-ili06.rdp

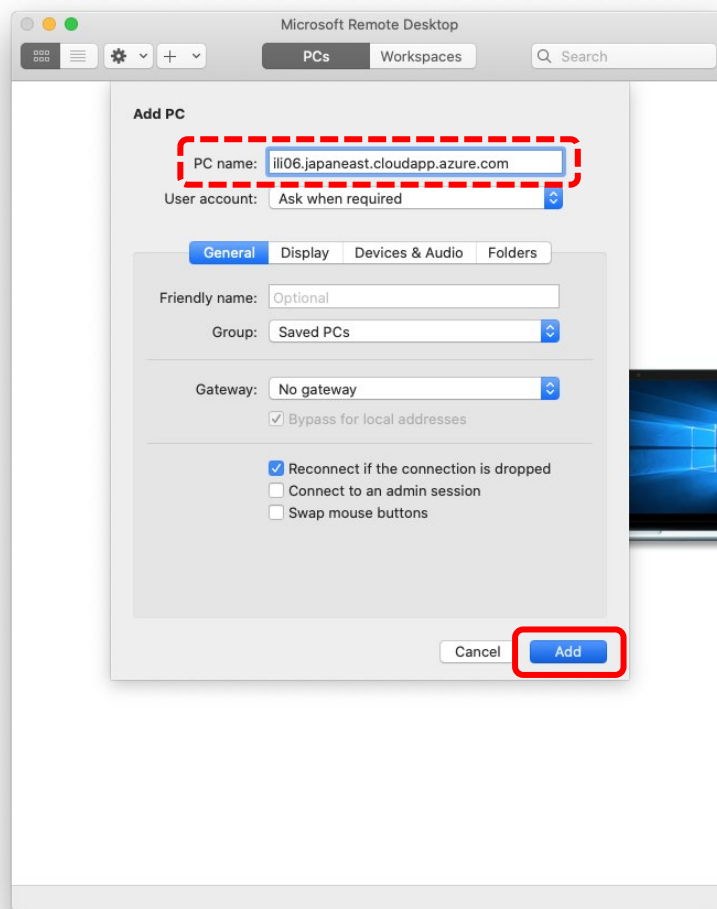
RDPファイル…簡単にリモートデスクトップ接続できる拡張子rdpのファイル

※RDPファイルが配布された場合、インストール済みであればダブルクリックするだけで⑥の入力画面になります。

8-2. RDP接続ガイド - macOS編

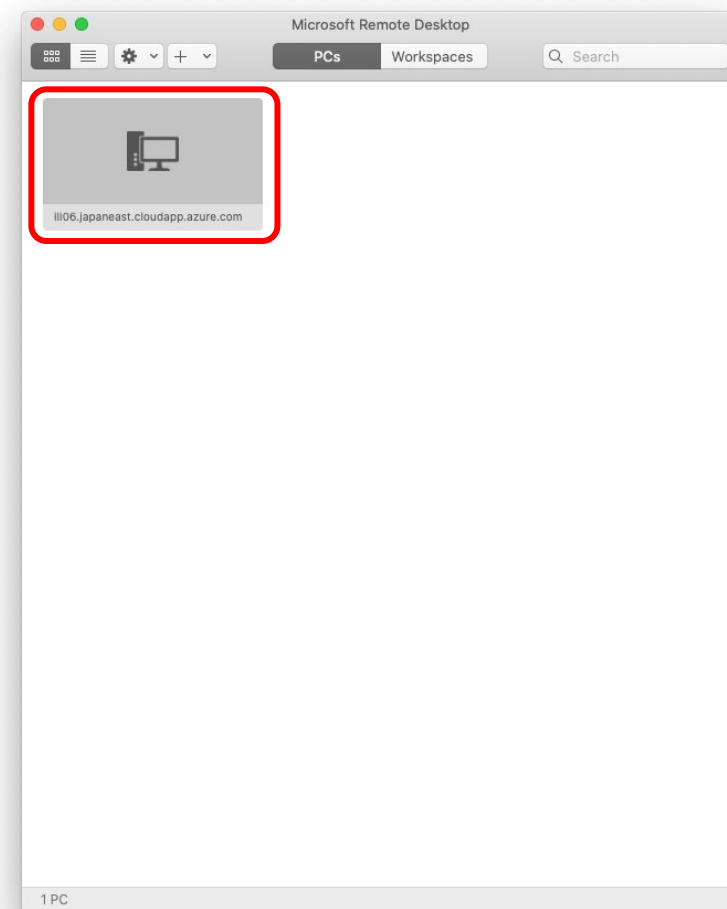


③[Add PC]を押します。



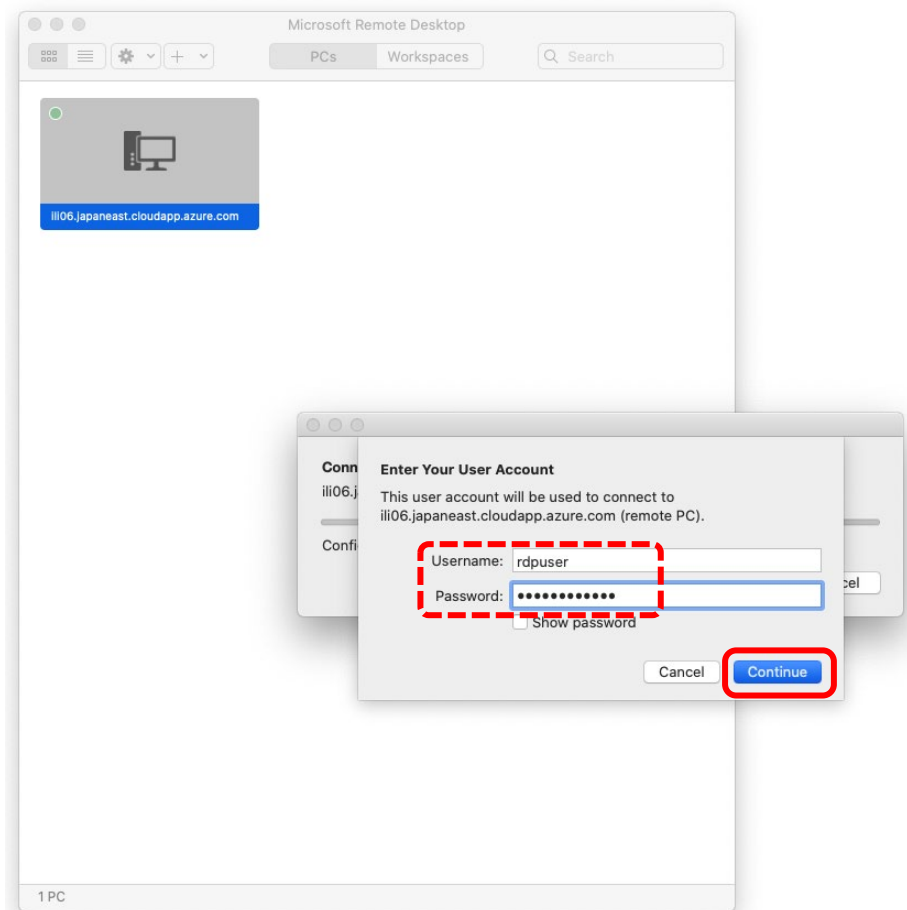
④[PC name]に指定されたコンピューター(接続先)名を入力し、[Add]を押します。

例: ili06.japaneast.cloudapp.azure.com



⑤接続情報が保存されますので、それをダブルクリックします。

8-3. RDP接続ガイド - macOS編

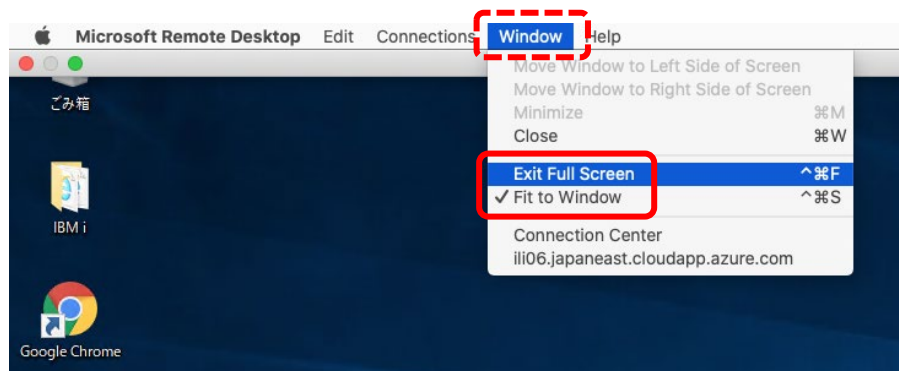


⑥ 指定された[Username]と[Password]を入力し、[Continue]を押します。

例: rdpuser ***** (パスワード12桁以上)



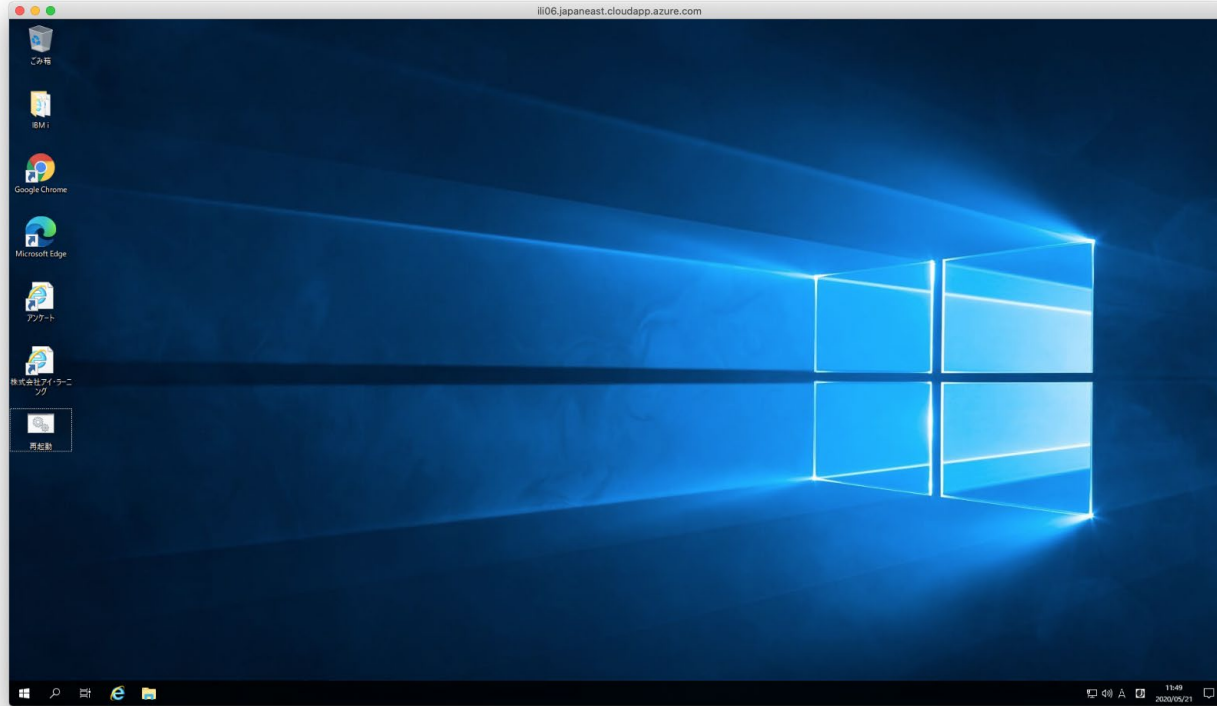
⑦ 上記画面が表示されましたら、[Continue]を押します。



⑧ 仮想マシンに接続するとフルスクリーンになり、ウィンドウの切り替えがしづらくなるため、[Window]から[Fit to Screen]にチェックが入った状態で、[Exit Full Screen]を選びます。

※ 講義と演習を切り替えやすくする設定であり、必須ではありません。

8-4. RDP接続ガイド - macOS編



⑨仮想マシンのデスクトップ画面が表示されましたら完了です。
この後は、指示に従って操作します。

⑩接続を切るときは、ウィンドウ左上の[● (閉じる)]を押すか、仮想マシンの[スタート]メニューから[電源]の[切断]を選びます。

※途中でリモートデスクトップ接続が切れた場合、⑤の手順より再接続してください。また、仮想マシンに問題が発生した場合、デスクトップの[再起動]をダブルクリックして再起動させ、手順⑤より再接続してください。

9. パソコン以外の使用について

タブレットやスマートフォンもアプリ導入でリモートデスクトップ接続できますが、原則非推奨とさせていただきます。
やむを得ず使用の場合、別途キーボード等の接続をお勧めしますが、操作や演習等に支障ないことを保証できません。
実際に利用可否については、コースごとにご確認ください。



iPadOS/iOS

Microsoft リモート デスクトップ (App Store)



Android

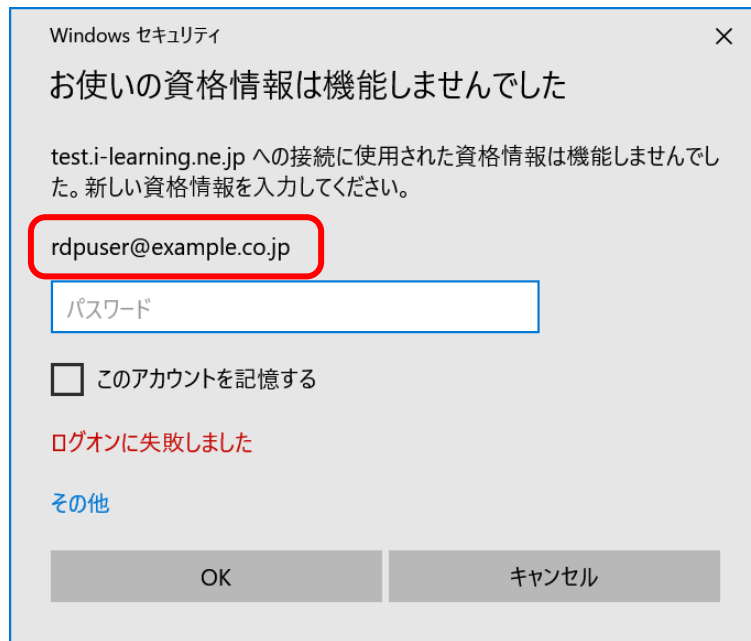
Remote Desktop (Google Play)

※アプリ導入後の接続設定は、RDP接続ガイド(6、8)に近い読み替えてください。

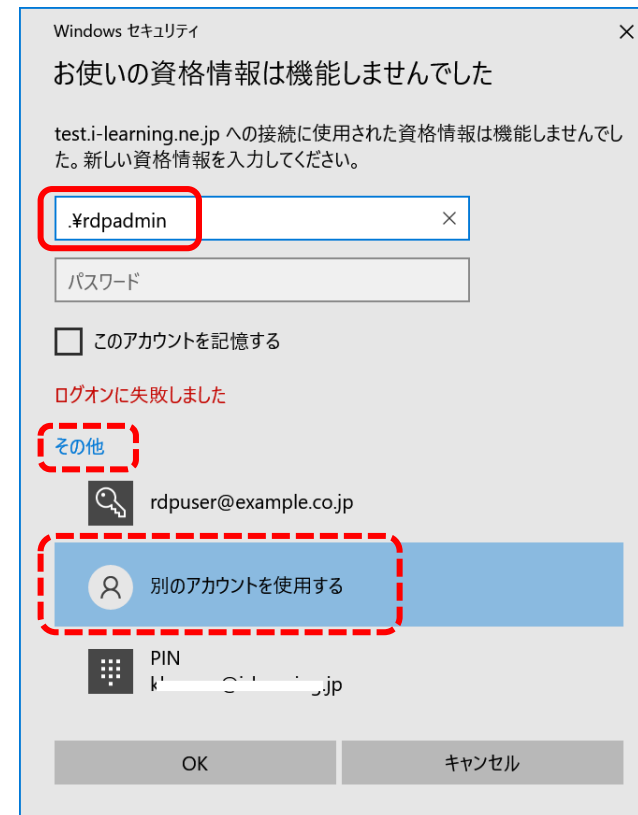
10-1. 接続できなかったときの対応例

A) 接続時のユーザー名にドメイン名が自動で付加されて接続できない場合

リモートデスクトップ接続時のユーザー名にドメイン名が自動で付加されてしまい接続できない場合、ユーザー名の前に[.¥]
(ドットバックスラッシュ、日本語Windowsではドット円マーク)を付加することで回避できます。



①ドメイン名が自動で付加されて接続失敗した状態
(ユーザー名 : rdpuser → **rdpuser@example.co.co.jp**)



②ユーザー名の前に[.¥]を手動で付加
(ユーザー名 : rdpuser → **.¥rdpadmin**)

10-2. 接続できなかったときの対応例

B) VPNを使用している場合

会社貸与パソコン等を使用して社外から自社VPN経由でインターネット接続している場合、VPN接続を切断してみてください。VPN接続していない状態でRDP接続できた場合、受講中はVPN接続を切ってください。

C) プロキシサーバーを使用している場合

会社貸与パソコン等でプロキシサーバーを使用する設定の場合、プロキシサーバーを外して直接インターネット接続してみてください。プロキシサーバーなしでRDP接続できた場合、受講中はプロキシサーバーを使用しないでください。

D) 受講環境のネットワーク制限により接続できない場合

受講予定場所(例：オフィス)のファイアウォール等が原因で接続できない場合、場所を変えるか、Wi-Fiルーターやテザリングの使用をご検討ください。パソコン(例：会社貸与PC)のネットワーク設定やセキュリティ対策ソフトや原因で接続できない場合、研修用に使用できる他のパソコンの使用をご検討ください。

※対応可能な方法をお試しいただいても接続できなかった場合、弊社までお問い合わせください。

株式会社 アイ・ラーニング

0120-623-629

受付時間：9:00 ～ 17:00（土・日・祝・弊社休業日を除く）

お問合せフォーム

<https://www.i-learning.jp/contact/>



株式会社 アイ・ラーニング

0120-623-629

受付時間: 9:00 ~ 17:00 (土・日・祝・弊社休業日を除く)

お問合せフォーム

<https://www.i-learning.jp/contact/>